

都市局長賞

大手前通りシンボルロード整備事業

(表彰対象者：姫路市道路局建設部街路建設課)

表彰の理由

国宝姫路城を背景に緑と文化の香りの感じられる街路整備を行った。随所に細やかな心づかいが感じられ、姫路祭や青空バザールなどを通じて市民が楽しめる街路整備が行われたほか、市街地に地下駐輪場を確保したことなどが評価された。

事業のあらまし

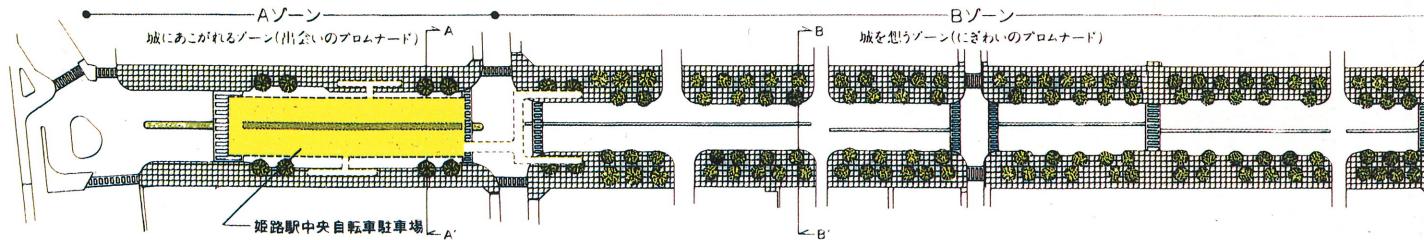
JR姫路駅と国宝姫路城を結び、本市の都市軸である都市計画道路駅前幹線、通称「大手前通り」は、戦災復興事業として計画され、昭和30年に完成した。その当時から無電柱化を実現するなど城との景観の調和を考慮した道路であった。

しかし、姫路市として、また西播磨地域の中心都市としての都市核の充実を図るため、道路の再生を目的として、昭和58年度にシンボルロード整備事業に着手したものである。

- 延長：830m
- 幅員：50m
- 事業費：1,138百万円
- 事業実施期間：昭和58年度～昭和62年度



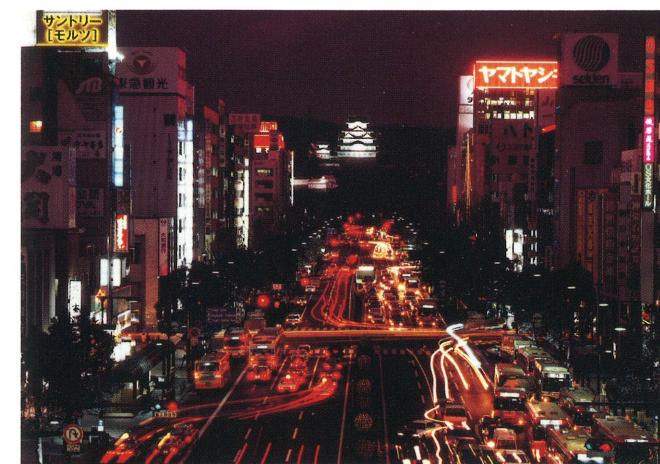
大手前通りの全景。JR姫路駅より本市のシンボルである国宝姫路城をのぞむ。



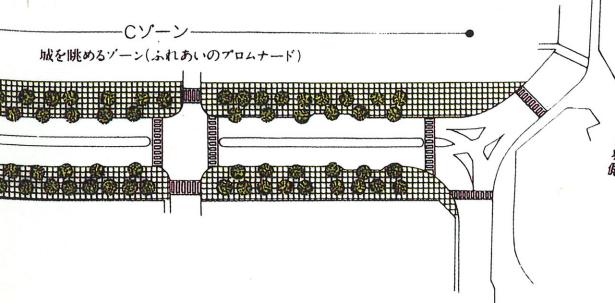
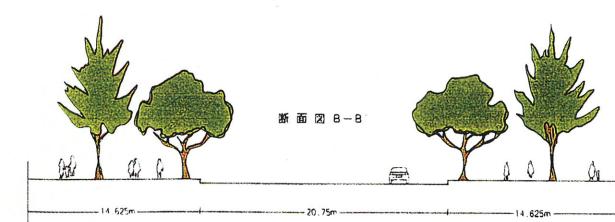
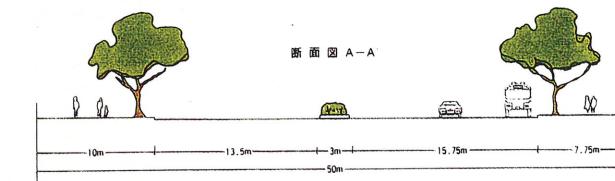
文化の香り高い都市をめざして「彫刻のある街づくり」を進めている。
作品は、「ブーツの娘」。



信号や標識を一体化した道路照明灯。



JR姫路駅より姫路城をのぞむ夜間風景。



築成した先人の偉業をたたえる市民の祭りである姫路お城まつり。
盛夏の播州路最大のイベント。



事業遂行上の工夫

- 既存のイチョウ並木と並列し、クスノキを複列植栽した。
- 彫刻のある街づくりをめざし、歩道上に彫刻を設置した。
- 道路照明や標識、電話ボックスなど、姫路城を意識した一体的な景観を保持できるよう考慮した。